

腸管出血性大腸菌(VT産生)による食中毒発生状況と感染症届出数

年次		腸管出血性大腸菌(VT産生)による食中毒発生状況			感染症発生動向調査による腸管出血性大腸菌感染症届出状況			
		発生件数	患者数	死者数	報告数	有症者	有症者比率	死者
H8	1996	87	10,322	8				
H9	1997	25	211	0				
H10	1998	13	88	3				
H11	1999	6	34	0	3,117	...	...	1
H12	2000	14	110	1	3,468	2,265	65.3%	7
H13	2001	24	378	0	4,435	2,943	66.4%	5
H14	2002	12	259	9	3,183	1,994	62.6%	7
H15	2003	10	39	1	2,999	1,623	54.1%	3
H16	2004	18	70	0	3,764	2,551	67.8%	4
H17	2005	24	105	0	3,589	2,426	67.6%	7
H18	2006	24	179	0	3,922	2,515	64.1%	6
H19	2007	25	928	0	4,617	3,083	66.8%	4
H20	2008	17	115	0	4,321	2,818	65.2%	5
H21	2009	26	181	0	3,889	2,607	67.0%	3
H22	2010	27	358	0	4,110	2,702	65.7%	5
H12～H22の平均値		20	247	1	3,845	2,502	64.8%	5

出典：厚生労働省HPから

出典：食品安全委員会リスクプロファイル  
死者数：人口動態統計

※厚生労働省「食中毒発生状況」から引用：腸管出血性大腸菌(VT産生)による食中毒事件として厚生労働省に報告されたものである。

※1999年報告数は、「感染症の予防及び感染症の患者の医療に関する法律(感染症法)」が施行された1999年4月からの集計である。

※※2008年までは確定値、2009年以降は速報値である。

※※※2009年は、国立感染症研究所感染症情報センターの感染症発生動向調査週報(IDWR)「腸管出血性大腸菌感染症2009年<速報>(2010年6月30日現在)」による。

なお、三重県感染症情報センターHP掲載の全国速報値(IDWR「2009年52-53週号」2010年1月7日集計値：3,837例(うち有症者2,569例、死亡3例)と異なる。

※※※※2010年は、IDWR「2010年51-52週号」2010年1月7日集計値による。

※※※※※死者数は、IDWR最終週号による累積報告数では、2004年5例、2005年10例、2006年3例、2007年4例、2008年8例となっている。

なお、同調査による死亡例の把握は届出時点で届出様式に記載されていたか、または届出後に任意に追加されたものに限られ、届出時点以降での状況が十分反映されていない可能性がある。

※印：注釈は、三重県感染症情報センターによる。